

平成27年度 事業計画発表会



新年度を迎え、新たな計画に沿って事業が動いてまいります。今年は3回行われる事業計画全てを4月に開催いたしました。

4月4日(土)は病院全体の事業計画として、黒田院長より「平成27年度事業計画」が発表されました。

26年度の総括と次へ積み残しているもの、そして日本の精神科医療の方向と客観的な視点を加えながら、当院の現況説明がなされました。そして、医療データや3月に行われた管理職者研修でのスライドに考察を加え、各部署の目指す目標を提示がなされています。

2週間後の4月18日(土)は部門別事業計画発表会が行われました。看護部を除く30の計画が発表されました。共有や連携といったキーワードも多く聞かれました。

4月25日(土)はQC活動事業計画が行われました。看護の各部署の計画と委員会・会議の計画発表会です。専門性向上や、インシデント減を掲げ、さらに病棟機能を高めるといったコメントがよく聞かれました。事業計画が発表され既に、計画達成に向けて稼働を始めています。それぞれの部署が立てた計画をしっかりと遂行し、医療の質向上、そして患者サービス向上につなげていけるように、今年も奮闘してまいります。

基本方針

人権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

最新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

信頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定



院内
花
だ
よ
り

あじさい 紫陽花



- 開花時期は、6/1～7/15頃。ちょうど梅雨時期と重なる。
- 名前は、「あづさい」が変化したものらしい。「あづ」は「あつ(集)」、「さい」は「さい(真藍)で、青い花が集まって咲くさまを表した。
- 日本原産。
- 色がついているのは「萼(がく)」で花はその中の小さな点のような部分。私たちがよく見るあじさいは品種改良されたもの。
- 花色は、紫、ピンク、青、白などいろいろあり。

こころの日

日時 7月1日(水)
10:00～15:00

場所 泉ヶ丘駅前
噴水広場周辺

精神保健福祉法制定を記念して設けられた「こころの日」、当院でも毎年この時期に、医師、薬剤師、管理栄養士、看護師、作業療法士、精神保健福祉士といった専門職種との相談や、病院パンフレットの配布など、終日地域の方と関わるイベントを行っています。今年も7月1日開催します。お近くにお越しの際はどうぞお立ち寄りください。



(昨年の様子)

■外来診察表 外来診察時間/9:00～12:00(受付は11:30まで) 平成27年4月1日から各医師の診察を各曜日各診察室で行なっています。

	月	火	水	木	金	土
1 診	黒田	子安	作田	横田	黒田	横田
2 診	福田真	秋田	松島	橋元	横井	横井
3 診	松島	島本	植田	仲山	茶谷	植田
4 診	花房	大矢	濱田	戎	小林	安藤
5 診	佐野	山田	川村	宮里	秋田	
6 診	福田晋	土井	正路	永松	土井	宮里
7 診	山本	久保	小深田	橋元	作田	小深田
8 診	西村	荒川	西村	河野い	奥田	
9 診	熊取谷	柏木	後藤	大浦	長谷川	熊取谷
診(心1)		清水	中井	山下		

*医師の急な都合により、変更・休診となる場合がございますので、予めご了承ください。

〈ご紹介いただく際は、予めのご連絡をお願いいたします〉

専門外来(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。
受診の前にお電話ください。☎072-278-0381 FAX072-281-6615



診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/小児科/放射線科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 168床(C1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 25床(D1病棟)
- 垂急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 51床(E2病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- リカバリ mix 病棟 60床(D2病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 51床(H1病棟)
- リハビリ(精神療養)病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 救急病棟 10:1
看護師比率 70%以上・看護補助 30:1

関連施設紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあい ☎072-279-1631
- グループホーム青空・そよかぜ
堺市中区八田南之町277 阪南病院内 ☎072-278-0381
- グループホームあんの郷
堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい
堺市中区深井沢町3324 FUKAI ビル1F
☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺
堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号
堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506

熱中症を予防しよう

春を越え、一気に気温が上昇してきました。この時期はまだ体が暑さに慣れていないため、気温の変化に対応しきれず体調を崩すことも!熱中症もこの時期から注意が必要です。

気候がよくなりスポーツに汗を流す人もいでしょう。気候を上手く調整し、健康的な生活を送りましょう。

熱中症予防の五カ条のポイント

1. 環境条件に合わせて運動する(時間帯調整やこまめな休憩)
2. できるだけ薄着にし、直射日光は帽子などで避ける
3. 暑さにならす
4. こまめに水分補給する
5. 暑さに弱い人は特に注意をする



熱中症予防のための運動指針

この指針は、上記ポイントを理解した上で、環境温度に応じてどう運動したらよいかを示したものです。

気温(参考)	WBGT(°C)	熱中症予防のための運動指針	
35°C以上	31°C以上	運動は原則禁止	皮膚温より気温の方が高くなる。運動は中止する。
31~35°C	28~31°C	厳重警戒	熱中症の危険が高い。激しい運動・持久走は避ける。体力の低いもの、暑さに弱いものは運動中止。運動する場合は積極的に急速・水分補給。
28~31°C	25~28°C	警戒	熱中症の危険が増す。積極的に水分・休息をとる。激しい運動では30分おきに休息。
24~28°C	21~25°C	注意	熱中症がおこる可能性がある。その兆候に注意しながら、運動の合間に積極的に水分補給。
24°C未満	21°C未満	ほぼ安全	通常、熱中症の危険は少ない。水分補給は必要。持久走などでは熱中症の可能性あり。

※暑さ指数(WBGT)は人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

(日本体育協会資料より一部抜粋)

患者さんレク 太秦映画村!

今年も患者さんが楽しみにしておられた患者さんレク!4月22日は温かな日差しの中、笑顔いっぱいの開催となりました。



年代に関係なく楽しめるため、誰からも好評な映画村。レクの舞台は何度目かですが、本当に楽しみにされていた方もいるでしょう。バスに乗り込む前からニコニコ、そわそわという方もおられました。9時半に約90名で病院を出発し一路太秦へ。混雑もなく、現地へ到着すると、時代劇で使用されるセットなど大きさも出来栄も迫力満点でした。

また、外で食べるお弁当も格別です。皆さんそれぞれの楽しみ方で時間たっぷり映画村を散策し、楽しめました。大きな事故もなく、笑顔のまま帰院。次のレクを既に楽しみにしている方もおられるかもしれません。少し気が早いですが、次回秋レクは、どこで楽しむことになるのでしょうか。

当院では、規模の大きなレクは年2回、それ以外にも将棋大会やクリスマス会など患者さんの生活が少しでも潤いのあるものにしていただけるよう、様々レクレーションを考えています。

今回も大成功の春レクでした。

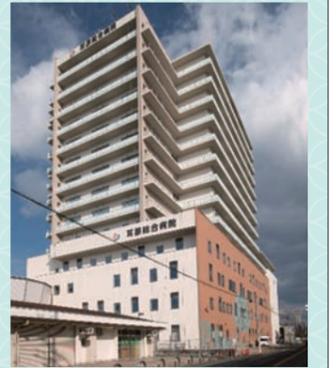


耳原総合病院

おかげさまで新病院がオープンし1ヶ月が経過しました。ご支援ご協力いただいた皆様から感謝申し上げます。

新病院では、災害拠点病院レベルの耐震構造14階建てで災害時に地域を守る病院を追求し、自然治癒力を高める療養環境、産科・緩和ケア全室個室化、人工透析を院内に移設、320列CTの導入、救急医療の充実を目指しER・OPE室の拡充などを行いました。今後も無差別平等、安全・安心・信頼の医療を、質高く提供してまいります。今回、地域住民はじめ多くの方々に参加いただき思いの詰まったホスピタルアートを導入しました。病院の枠を超え住民が集える施設として、堺の街づくりにも貢献したい。これからは阪南病院さんをはじめ地域とともに歩んでまいります。今後ともよろしくお願い致します。

医療機関紹介 renkei bookmark



院長 奥村 伸二 先生

- 住所 〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465
- 電話番号・HP 072-241-0501(代表) <http://www.mimihara.or.jp/sogo/index.html>
- 最寄駅 南海線「堺東駅」からバスで約10分、タクシーで約5分
バス停「塩穴通」下車又は、南循環(左回り)「協和町」下車 徒歩5分
JR阪和線「上野芝駅」からバスで約10分
バス停 堺東行き「塩穴通」下車 徒歩5分
※無料送迎バスあり(詳細はホームページ)
- 診療科 救急診療科、総合診療科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・膠原病・内分泌内科、腎臓内科、小児科、外科、緩和ケア外科、胸部心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、精神科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科、神経内科、脳神経外科、皮膚科(入院患者のみ)、耳鼻咽喉科(休診中)

堺市発達障害支援センター講演会

7月11日(土)に、阪南病院黒田院長が発達障害者支援センターにて講演を行います。定員は750名です。

堺市発達障害支援センター講演会
「医療からみた発達障害」

講師: 黒田 健治 先生
(医療法人 阪南 院長)

最近では、発達障害についてテレビや新聞でも特集を組まれることが多く、社会的な関心が高まっています。その中で「自分は発達障害かもしれない」と精神科を受診する人が増えています。そこで、当法人の黒田院長を講師に迎え、医療現場では発達障害をどのように捉えているか、どのようなアプローチを行っているのかなど「医療からみた発達障害」と題して講演会を開催いたします。

日時 7月11日(土) 14時~16時(開場:13時30分)

会場 ビッグ・アイ 多目的ホール (南海泉北線「泉ヶ丘駅」下車 200m)

費用 無料 定員 750名

お申込方法: 参加者の氏名、連絡先(電話かFAX)を明記し、メールかFAXでお申し込みください。
お申込先: apricot-event@hannan.or.jp FAX 072-275-8507 (裏面に送信フォーム記載)

黒田健治先生略歴: 1981年大阪医科大学卒業、1988年大阪府立精神医学教室助教授、その後2004年阪南病院院長に就任、現在に至る。
資格: 医学博士、精神保健指導員、日本看護学会認定医、精神保健判定医、日本心身医学会認定医・指導医、日本老年精神医学会専門医

阪南病院では非常勤医師であった1988年、新棟建設に際し、睡眠検査室(スリープラボ)を設置、睡眠障害治療の確立を図る。院長就任後は精神科救急、合併症治療、児童精神科など、当時精神科の課題であった領域に挑戦。現在の「新しい医療」24時間365日稼働体制を確立して築き上げる。

主催 堺市発達障害支援センター アプリコット堺

第27回 児童精神科領域研究会

8月18日(火)に、研究会が開催されます。行政・医療・教育機関等で子どもの育成、支援に関する執務をされている方を対象としています。

第27回 児童精神科領域研究会

演題 「児童精神科の看護 外来相談」
川野 雅資 先生 山陽学園大学院看護学研究科教授

日時 8月18日(火) 14:00~16:00

場所 サンスクエア堺
堺市堺区田出井町 2-1 (072-222-3561)
JR阪和線「堺市」駅徒歩3分

対象 教育・行政・医療機関・児相等、ご自身の医療や教育で執務される方

長年の看護に関する研究・実践から、患者さんやご家族との対話を重要視し、医療・福祉・教育に及ぶ幅広い分野での豊富なカウンセリング経験を持っておられる先生です。特に精神疾患や発達障害に関するカウンセリングを実践されており、この分野ではエキスパートといえる著名な先生です。研究会初めての看護の視点でのご講演、是非ご参加ください。

川野 雅資先生ご略歴: 山陽学園大学院看護学研究科精神看護学(CNSコース)教授。1975年千原大学教育学部特別教育科看護教育専攻卒業(教育学士)、1984年ハイウェイ大学看護学部修士課程(CNSコース)修了(看護学修士)、東京都民生局、小児病院(看護師)の臨床経験の後、東京女子医科大学看護短期大学を経て、杏林大学保健学部看護学教授、三重県立看護大学・大学院教授、地域交流研究センター長、共立女子短期大学看護学科学科長、東京慈恵会医科大学看護学科学科、大学院教授を歴任し2013年より現職
著書: 「看護研究(看護学実践 Science of Nursing)」2015/3 「精神症状のアセスメントとケアプラン 32の症状とエビデンス集」2012/11 「エビデンスに基づく精神科看護ケア関連図」2008/12他多数

いずれも阪南病院ホームページから詳細と申込み書をダウンロードすることができます。是非ご応募ください。(http://www.hannan.or.jp)